

2016年度第3四半期（2016年7月～9月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 わ せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2016年10月27日（木曜日）

2. 業 績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,716	百万ドル 5,040	% 13.4	百万ドル 16,604	百万ドル 15,553	% 6.8
税引前当期純利益	百万ドル 963	百万ドル 864	% 11.2	百万ドル 2,914	百万ドル 2,752	% 5.9
当期純利益	百万ドル 629	百万ドル 567	% 10.8	百万ドル 1,908	百万ドル 1,803	% 5.8
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.54	ドル 1.32	% 16.7	ドル 4.62	ドル 4.17	% 10.8
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.53	ドル 1.32	% 15.9	ドル 4.59	ドル 4.14	% 10.9

配当金の推移		
	当年度（2016年度）	前年度（2015年度）
第1四半期	0.41 ドル	0.39 ドル
第2四半期	0.41	0.39
第3四半期	0.41	0.39
第4四半期		0.41
合計	1.23 ドル	1.58 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
堀江純一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2016 年度第 3 四半期の業績を発表

2016 年度の1株当たり事業利益の見通しを上方修正

2016 年度第 4 四半期現金配当を 4.9%増配

ジョージア州、コロンバス - 2016 年 10 月 27 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2016 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安を反映し、前年同期の 50 億ドルから 13.4%増加し、57 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 5 億 6,700 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.32ドル)から 6 億 2,900 万ドル(同 1.53ドル)となりました。

有価証券取引及び減損による税引後資産運用実現損益については、前年同期の当期純利益には 7,200 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.16ドル)の実現損が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、2,500 万ドル(実現益とのネット。希薄化後 1 株当たり 0.06ドル)の実現損が含まれていました。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで 1 億 2,200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.30ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現益(実現損とのネット)は 4,000 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.10ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的

損益からの1,200万ドル(希薄化後1株当たり0.03ドル)の税引後損失が含まれていました。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有していることから、当社は将来の事業利益目標については、米国会計基準 GAAP と同様の計算をしておりません。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金、再々保険取引の決済及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を用いて当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響

を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の122.15円から19.3%円高ドル安の102.37円となりました。また、本年度年初来9ヶ月間の平均円／ドル為替レートは、前年同期の120.81円から11.3%円高ドル安の108.58円となりました。日本社の当四半期及び本年度年初来9ヶ月間のドルベースでの成長率は、円高ドル安により押し上げられました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億7,200万ドルから、7億4,800万ドルとなりました。当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期に比べて16.7%増加し、1.82ドルとなりました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.15ドル増加しました。円高ドル安の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、7.1%増加しました。

本年度年初来9ヶ月間の業績も、円高ドル安により押し上げられました。収益合計は前年同期の156億ドルから6.8%増加し166億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の18億ドルから19億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は4.14ドルから4.59ドルとなりました。一方、本年度年初来9ヶ月間の事業利益は、前年同期の20億ドルから22億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の4.60ドルから5.25ドルとなりました。円高ドル安による、希薄化後1株当たりのプラスの影響0.26ドルを除くと、本年度年初来9ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は8.5%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2016年6月30日現在の1,260億ドルから2016年9月30日現在では1,289億ドルとなりました。

当四半期、当社は2億ドル相当(270万株)の自己株式を取得しました。本年度年初来9ヶ月間では、当社は12億ドル相当(1,880万株)の自己株式を取得しました。2016年9月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、2,960万株となっています。

株主持分は、2016年6月30日現在が226億ドル(1株当たり54.98ドル)であったのに対し、2016年9月30日現在では228億ドル(1株当たり55.84ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2016年6月30日現在が64億ドルであったのに対して、2016年9月30日現在では61億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で11.1%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.3%(事業利益に対する円高の影響を除くと15.1%)でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、日本社の再保険後の保険料収入は1.1%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約46%がドル建てであり、円高ドル安がドル建ての収益の報告実績に著しい影響を与えたため、投資収益(ネット)は、8.6%減少しました。当四半期の収益合計は、前年同期比0.5%減少しました。当四半期の税引前事業利益率は、円高及び保険金給付金比率の上昇を反映して、前年同期の21.9%から20.7%に低下しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは前年同期比6.4%減少しましたが、為替変動の影響を除けば、0.4%の減少でした。一方、本年度年初来9ヶ月間の円ベースの純保険料収入は1.0%の増加、投資収益(ネット)は5.2%の減少、収益合計は変動なく、税引前事業利益は2.8%の減少でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円高ドル安の影響により、押し上げられました。当四半期の純保険料収入は20.6%増加し、36億ドルとなりました。投資収益(ネット)は9.1%増加し6億6,100万ドルとなりました。収益合計は18.7%増加し、43億ドルに、税引前事業利益は11.7%増加し8億8,200万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の純保険料収入は前年同期比12.6%増加し、102億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.6%増加し19億ドルとなりました。収益合計は11.5%増加し121億ドルに、税引前事業利益は8.2%増加し、26億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は16.2%減の265億円(2億5,900万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、2.5%増加しました。当四半期のWAYSと学資保険を含む第一分野商品の販売は、54.0%減少しました。

本年度年初来9ヶ月間の新契約年換算保険料は1.4%減少して879億円(8億900万ドル)となりました。本年度年初来9ヶ月間、第三分野商品の販売は5.0%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の純保険料収入は1.4%増加し、14億ドルとなりました。投資収益(ネット)は1.7%増加して1億7,600万ドルとなりました。収益合計は1.4%増の15億ドルとなりました。当四半期の税引前事業利益率は、有利な給付傾向が継続したことを反映して、前年同期の18.8%から20.9%となりました。当四半期の税引前事業利益は、前年同期比12.4%増の3億2,300万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の収益合計は2.1%増の46億ドルに、純保険料収入は1.9%増の41億ドルとなりました。投資収益(ネット)は3.7%増加して5億2,600万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比9.5%増の9億4,600万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料合計は、1.8%減少し3億2,400万ドルとなりました。本年度年初来9ヶ月間の販売は、0.9%増加して9億9,900万ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2016年度第4四半期支払いの四半期現金配当を4.9%増配し、1株当たり0.43ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016年11月16日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016年12月1日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期ならびに年初来9ヶ月間において、日本社は財務業績の観点で堅調な実績を挙げました。先月の東京でのアナリスト・ブリーフィングでお話ししましたように、日本社の第三分野商品の販売については、マイナス3%からプラス2%の年間成長率予想を、0%からプラス5%に上方修正しました。当四半期及び年初来9ヶ月間の第三分野商品の販売実績については、大変喜ばしく思っています。日本社が困難な販売比較に直面している中にあっても強い実績を挙げたことを反映して、第三分野商品の販売は、当四半期では2.5%増、年初来では5%増という結果になりました。しかしながら私は、第4四半期は厳しい販売比較となることを思い起こしていただきたいと思っています。第三分野商品の販売成長は、長期的には複利年率で4%から6%となるものと、当社は引き続き確信しています。第一分野商品の販売に目を転じますと、特に日本におけるマイナス金利や低金利の環境下で、当社の第一分野商品の販売を制限する動きに大きな進展があったことに勇気づけられています。当四半期の第一分野商品の販売は54%減となり、本年度下半期の第一分野商品販売を最低でも50%減少させるという目標の達成に向け、順調に進捗しています。」

「当四半期及び年初来9ヶ月間において、財務業績の面で米国社は強い実績を挙げました。当四半期の販売は、残念な結果となりましたが、私は、当社の販売インフラを強化するために実行した数々の施策が、将来のより良い販売機会に向けた基礎固めとなるものと確信しています。私はまた、当社が第4四半期、特に最終の3週間の販売が、年間の販売実績に著しい影響を与えるということを思い起こしていただきたいと思います。従いまして、年初来9ヶ月が経過した後でも、年間の販売予想を行うことが一層困難になっています。これらを総合して勘案すると、米国社が2016年度通年の販売目標である3%から5%増の下限値を達成するには、第4四半期において特に強力な販売が必要となるものと当社は確信しています。」

「当社は引き続き、ご契約者のために高い自己資本比率を維持することにコミットしています。当社の強い資本水準は、2016年暦年の利益送金を1,200億円から1,500億円の範囲で実行ならしめるものと、当社は確信しています。2016年度の自己株式取得については、年初来9ヶ月間に12億ドル相当が既に実行されましたが、年間で約14億ドル相当を取得する計画は順調に進んでいます。」

「取締役会が現金配当の4.9%増配を決定したことは、株主還元への当社のコミットメントを表しています。これにより、当社は34年連続で現金配当を増配することになります。当社の目標は、概して為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益の増加率に合わせて増配を行うことです。」

「年初来9ヶ月間を終え、私は当社の全般的な業績について喜ばしく思っています。これらの業績は、2016年の残りの期間における見通しとともに、本年も堅調な財務業績の達成に向けてアフラックを良いポジションに位置づけるものと、当社は確信しています。将来の成長に向けた取り組みに継続的に注力するため、第4四半期は、特に販売促進とIT関連の支出が増加する見込みです。為替変動の影響を除く当社の1株当たり事業利益の2016年度の見通しを、従来の6.17ドルから6.41ドルの範囲から、6.40ドルから6.60ドルの範囲に上方修正することを、私は大変喜ばしく思っております。仮に第4四半期の期中平均円／ドル為替レートが1ドル100円から110円で推移した場合、第4四半期の希薄化後1株当たり事業利益(米国会計基準GAAP外の指標)は約1.53ドルから1.82ドルの間となり、通年ベースでは、約6.78ドルから7.07ドルの間となるものと当社は予想しています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売No.1の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給

付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、10年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2016年、『フォーチュン』誌は、当社を18年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、15回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の1社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門において2年連続で第1位にランクしました。2015年、アフラックのコンタクトセンターは、その電話対応チャンネルにおいて、J.D.パワー社から「サービスに対する際立った顧客体験」の認定を受けました。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカー・シンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様様を2016年10月28日(金曜日)午前9時00分(米国東部夏時間)にaflac.com「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2016	2015	増減率
収益合計	5,716	5,040	13.4%
保険金給付金(ネット)	3,378	2,927	15.4%
新契約費及び事業費合計	1,375	1,249	10.2%
税引前当期純利益	963	864	11.2%
法人税等	334	297	
当期純利益	629	567	10.8%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.54	1.32	16.7%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.53	1.32	15.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	408,519	428,735	-4.7%
希薄化後	411,140	431,102	-4.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2016	2015	増減率
収益合計	16,604	15,553	6.8%
保険金給付金(ネット)	9,657	8,816	9.5%
新契約費及び事業費合計	4,033	3,985	1.2%
税引前当期純利益	2,914	2,752	5.9%
法人税等	1,006	949	
当期純利益	1,908	1,803	5.8%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.62	4.17	10.8%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.59	4.14	10.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	413,023	432,540	-4.5%
希薄化後	415,446	435,064	-4.5%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.23	1.17	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

9月30日現在:

	2016	2015	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	128,935	104,900	22.9%
繰延新契約費	9,759	8,451	15.5%
その他の資産	5,407	4,063	33.1%
資産合計	144,101	117,414	22.7%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	105,556	87,185	21.1%
社債等	5,765	4,968	16.1%
その他の負債	9,995	8,006	24.8%
株主持分	22,785	17,255	32.1%
負債および株主持分合計	144,101	117,414	22.7%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	408,021	427,567	-4.6%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2016	2015	増減率
事業利益	748	672	11.3%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-25	-72	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-122	-18	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	40	2	
その他及び非経常的(損)益	-12	-17	
当期純利益	629	567	10.8%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.82	1.56	16.7%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	-0.06	-0.16	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.30	-0.04	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.10	-	
その他及び非経常的(損)益	-0.03	-0.04	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.53	1.32	15.9%

*調整項目は35%の税率で計算した税引後

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2016	2015	増減率
事業利益	2,182	2,001	9.0%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	12	28	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-182	-39	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-40	-12	
その他及び非経常的(損)益	-64	-175	
当期純利益	1,908	1,803	5.8%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	5.25	4.60	14.1%
調整項目(税引後*):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.03	0.06	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.44	-0.09	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.10	-0.03	
その他及び非経常的(損)益	-0.15	-0.40	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.59	4.14	10.9%

*調整項目は35%の税率で計算した税引後

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2016年9月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
純保険料収入 ³	14.6%	1.2%
投資収益(ネット)	7.3%	—
保険金給付金および事業費合計	14.0%	0.6%
事業利益	11.3%	2.2%
希薄化後1株当たり事業利益	16.7%	7.1%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³再保険後。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2016年9月30日に終了した9ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
純保険料収入 ³	9.6%	1.6%
投資収益(ネット)	5.2%	0.8%
保険金給付金および事業費合計	8.9%	0.9%
事業利益	9.0%	3.5%
希薄化後1株当たり事業利益	14.1%	8.5%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートをを用いて算出した。

³再保険後。

2016年度1株当たり事業利益¹予想

<u>円/ドル平均為替レート(通年)</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$7.24 - \$7.44	17.5% - 20.8%	\$ 0.84
105	\$6.94 - \$7.14	12.7% - 15.9%	\$ 0.54
110	\$6.75 - \$6.95	9.6% - 12.8%	\$ 0.35
120.99 ²	\$6.40 - \$6.60	3.9% - 7.1%	\$ -

¹ 米国会計基準GAAP外の指標

² 実際の2015年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- 世界資本市場及び経済の困難な状況
- 金融市場の安定化を目指す政府の行動
- 当社の投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- 重要な金利リスクに対するエクスポージャー

- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 円/ドル為替相場の変動
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 情報システムの改善・開発を継続する能力
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ その他の金融機関の信用力の低下
- ・ 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ アフラック保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Third Quarter Results,
Upwardly Revises 2016 Operating EPS Outlook,
Increases Fourth Quarter Cash Dividend 4.9%**

COLUMBUS, Ga. – October 27, 2016 – Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Reflecting the stronger yen/dollar exchange rate, total revenues increased 13.4% to \$5.7 billion during the third quarter of 2016, compared with \$5.0 billion in the third quarter of 2015. Net earnings were \$629 million, or \$1.53 per diluted share, compared with \$567 million, or \$1.32 per share, a year ago.

Net earnings in the third quarter of 2016 included \$25 million, or \$.06 per diluted share, of after-tax net realized investment losses from securities transactions and impairments, compared with net after-tax losses of \$72 million, or \$.16 per diluted share, a year ago. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis were \$122 million in the quarter, or \$.30 per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$40 million, or \$.10 per diluted share. In addition, net earnings included an after-tax loss of \$12 million, or \$.03 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations. Due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, the company does not calculate a GAAP equivalent of its forward-looking operating earnings guidance.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation, settlements of reinsurance retrocessions, and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2016 was 102.37, or 19.3% stronger than the average rate of 122.15 in the third quarter of 2015. For the first nine months, the average exchange rate was 108.58, or 11.3% stronger than the rate of 120.81 a year ago. Aflac Japan's growth rates in

dollar terms for the third quarter and first nine months were magnified as a result of the stronger yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the third quarter were \$748 million, compared with \$672 million in the third quarter of 2015. Operating earnings per diluted share in the quarter increased 16.7% from a year ago to \$1.82. The stronger yen/dollar exchange rate increased operating earnings per diluted share by \$.15 for the third quarter. Excluding the impact from the stronger yen, operating earnings per diluted share increased 7.1%.

Results for the first nine months of 2016 were also magnified by the stronger yen. Total revenues were up 6.8% to \$16.6 billion, compared with \$15.6 billion in the first nine months of 2015. Net earnings were \$1.9 billion, or \$4.59 per diluted share, compared with \$1.8 billion, or \$4.14 per diluted share, for the first nine months of 2015. Operating earnings for the first nine months of 2016 were \$2.2 billion, or \$5.25 per diluted share, compared with \$2.0 billion, or \$4.60 per diluted share, in 2015. Excluding the positive impact of \$.26 per share from the stronger yen, operating earnings per diluted share increased 8.5% for the first nine months of 2016.

Total investments and cash at the end of September 2016 were \$128.9 billion, compared with \$126.0 billion at June 30, 2016.

In the third quarter, Aflac repurchased \$200 million, or 2.7 million shares, of its common shares. For the first nine months of the year, the company repurchased \$1.2 billion, or 18.8 million of its common shares. At the end of September, the company had 29.6 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$22.8 billion, or \$55.84 per share, at September 30, 2016, compared with \$22.6 billion, or \$54.98 per share, at June 30, 2016. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$6.1 billion, compared with a net unrealized gain of \$6.4 billion at the end of June 2016. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 11.1%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 18.3% for the third quarter of 2016, or 15.1%, excluding the impact of the yen on operating earnings.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income, net of reinsurance, increased 1.1% in the third quarter. Net investment income decreased 8.6%, as the stronger yen/dollar exchange rate significantly impacted the reporting results of our dollar-denominated income, with approximately 46% of Aflac Japan's third quarter investment income dollar-denominated. Total revenues were down .5% in the third quarter. The pretax operating profit margin decreased in the third quarter to 20.7% from 21.9% in the prior year, reflecting the effect of the stronger yen and an increase in the benefit ratio in the quarter. Pretax operating earnings in yen decreased 6.4% on a reported basis and decreased .4% on a currency-neutral basis. For the first nine months of the year, net premium income in yen increased 1.0% and net investment income declined 5.2%. Total revenues in yen were unchanged, and pretax operating earnings were down 2.8%.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the third quarter were magnified as a result of the significantly stronger yen/dollar exchange rate. Net premium income increased 20.6% to \$3.6 billion in the third quarter. Net investment income was up 9.1% to \$661 million. Total revenues increased 18.7% to \$4.3 billion. Pretax operating earnings increased 11.7% to \$882 million. For the first nine months, net premium income was \$10.2 billion, or 12.6% higher than a year ago. Net investment income increased 5.6% to \$1.9 billion. Total revenues were up 11.5% to \$12.1 billion. Pretax operating earnings were \$2.6 billion, or 8.2% higher than a year ago.

In the third quarter, total new annualized premium sales decreased 16.2% to ¥26.5 billion, or \$259 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 2.5% in the quarter. Total first sector sales, which include products such as WAYS and child endowment, decreased 54.0% in the quarter.

For the first nine months of the year, new annualized premium sales were down 1.4% to ¥87.9 billion, or \$809 million. Third sector sales increased 5.0% in the first nine months of the year.

AFLAC U.S.

In the third quarter, Aflac U.S. net premium income increased 1.4% to \$1.4 billion. Net investment income was up 1.7% to \$176 million. Total revenues increased 1.4% to \$1.5 billion. Reflecting continued favorable claim trends, the pretax operating profit margin was 20.9%, compared with 18.8% a year ago. Pretax operating earnings were \$323 million, an increase of 12.4% for the quarter. For the first nine months, total revenues were up 2.1% to \$4.6 billion and net premium income rose 1.9% to \$4.1 billion. Net investment income increased 3.7% to \$526 million. Pretax operating earnings were \$946 million, 9.5% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales decreased 1.8% in the quarter to \$324 million. For the first nine months of the year, total new sales were up .9% to \$999 million.

DIVIDEND

The board of directors announced a 4.9% increase in the quarterly cash dividend, effective with the fourth quarter payment. The fourth quarter dividend of \$.43 per share is payable on December 1, 2016, to shareholders of record at the close of business on November 16, 2016.

OUTLOOK

Commenting on the company's third quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "From a financial perspective, Aflac Japan generated solid results in the third quarter and for the first nine months. As you may recall, last month at our Tokyo Analysts Briefing, we upwardly revised our annual third sector sales expectations from a range of down 3% to up 2% to a range of flat to up 5%. We are very pleased with third sector sales results for the quarter and the first nine months of the year. Aflac Japan generated a third sector sales increase of 2.5% for the quarter and 5% year to date, reflecting strong results despite facing difficult comparisons. However, I would remind you that the fourth quarter presents difficult comparisons. Long-term, we continue to believe the compound annual growth rate for third sector sales will be in the range of 4% to 6%. Turning to first sector sales, we are encouraged by the significant progress we've made with our actions to limit sales of our first sector products, especially given the negative to low interest rate environment in Japan. First sector sales decreased 54% in the quarter, which puts us well on our way to achieving our goal of decreasing first sector sales at least 50% in the second half of the year.

"From a financial perspective, Aflac U.S. produced strong performance in the third quarter and for the first nine months. While sales in the quarter were disappointing, I believe the measures we've taken to strengthen our sales infrastructure are laying the groundwork for better sales opportunities in the future. I would also remind you that fourth quarter sales – and particularly the last three weeks of the year – significantly influence our annual sales results. Therefore, it becomes increasingly challenging to project full-year sales, even after the first nine months. Taking all these factors into consideration, we believe Aflac U.S. will require a particularly strong fourth quarter in order to meet the lower end of our 3% to 5% targeted increase for 2016.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders. We believe our capital strength positions us to repatriate in the range of ¥120 to ¥150 billion for the calendar year 2016. We are on target to repurchase about \$1.4 billion of our common stock in 2016, with \$1.2 billion already repurchased during the first nine months.

"The board of directors' action to increase the dividend by 4.9% demonstrates our commitment to reward our shareholders. This marks the 34th consecutive year of increasing our cash dividend. Our objective is to grow the dividend at a rate generally in line with the increase in operating earnings per diluted share before the impact of foreign currency translation.

"Having completed the first nine months of the year, I am pleased with the company's overall results. We believe those results, combined with our outlook for the remainder of 2016, well-position Aflac for another year of solid financial performance. As we continue to focus on initiatives designed to drive future growth, our expectation is to increase spending in the fourth quarter, particularly related to promotional and IT initiatives. I am extremely pleased that we are upwardly revising our 2016 operating earnings per diluted share outlook from a range of \$6.17 to \$6.41 to a higher range of \$6.40 to \$6.60, both of which exclude the impact of the yen. If the yen averages ¥100 to ¥110 to the dollar for the fourth quarter, we would expect operating earnings, a non-GAAP measure, to be approximately \$1.53 to \$1.82 per diluted share in the fourth quarter, making full-year operating earnings per diluted share approximately \$6.78 to \$7.07 per diluted share."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 10 consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* as one of the World's Most Ethical Companies. In 2016, *Fortune* magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 18th consecutive year and included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 15th time, ranking the company No. 1 in innovation for the insurance, life and health category for the second consecutive year. In 2015, Aflac's contact centers were recognized by J.D. Power by providing "An Outstanding Customer Service Experience" for the Live Phone Channel. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Friday, October 28, 2016.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,716	\$ 5,040	13.4 %
Benefits and claims, net	3,378	2,927	15.4
Total acquisition and operating expenses	1,375	1,249	10.2
Earnings before income taxes	963	864	11.2
Income taxes	334	297	
Net earnings	\$ 629	\$ 567	10.8 %
Net earnings per share – basic	\$ 1.54	\$ 1.32	16.7 %
Net earnings per share – diluted	1.53	1.32	15.9
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	408,519	428,735	(4.7)%
Diluted	411,140	431,102	(4.6)
Dividends paid per share	\$.41	\$.39	5.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 16,604	\$ 15,553	6.8 %
Benefits and claims, net	9,657	8,816	9.5
Total acquisition and operating expenses	4,033	3,985	1.2
Earnings before income taxes	2,914	2,752	5.9
Income taxes	1,006	949	
Net earnings	\$ 1,908	\$ 1,803	5.8 %
Net earnings per share – basic	\$ 4.62	\$ 4.17	10.8 %
Net earnings per share – diluted	4.59	4.14	10.9
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	413,023	432,540	(4.5)%
Diluted	415,446	435,064	(4.5)
Dividends paid per share	\$ 1.23	\$ 1.17	5.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$ 128,935	\$ 104,900	22.9 %
Deferred policy acquisition costs	9,759	8,451	15.5
Other assets	5,407	4,063	33.1
Total assets	\$ 144,101	\$ 117,414	22.7 %
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 105,556	\$ 87,185	21.1 %
Notes payable	5,765	4,968	16.1
Other liabilities	9,995	8,006	24.8
Shareholders' equity	22,785	17,255	32.1
Total liabilities and shareholders' equity	\$ 144,101	\$ 117,414	22.7 %
Shares outstanding at end of period (000)	408,021	427,567	(4.6)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 748	\$ 672	11.3 %
Reconciling items, net of tax:*			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(25)	(72)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(122)	(18)	
Impact of other derivative/hedging activities	40	2	
Other and non-recurring income (loss)	(12)	(17)	
Net earnings	\$ 629	\$ 567	10.8 %
Operating earnings per diluted share	\$ 1.82	\$ 1.56	16.7 %
Reconciling items, net of tax:*			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	(.06)	(.16)	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.30)	(.04)	
Impact of other derivative/hedging activities	.10	–	
Other and non-recurring income (loss)	(.03)	(.04)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.53	\$ 1.32	15.9 %

*Reconciling items are calculated net of a 35% tax rate.

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,182	\$ 2,001	9.0 %
Reconciling items, net of tax:*			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	12	28	
Hedge costs related to foreign currency investments	(182)	(39)	
Impact of other derivative/hedging activities	(40)	(12)	
Other and non-recurring income (loss)	(64)	(175)	
Net earnings	\$ 1,908	\$ 1,803	5.8 %
Operating earnings per diluted share	\$ 5.25	\$ 4.60	14.1 %
Reconciling items, net of tax:*			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.03	.06	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.44)	(.09)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.10)	(.03)	
Other and non-recurring income (loss)	(.15)	(.40)	
Net earnings per diluted share	\$ 4.59	\$ 4.14	10.9 %

*Reconciling items are calculated net of a 35% tax rate.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2016	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	14.6 %	1.2 %
Net investment income	7.3	–
Total benefits and expenses	14.0	.6
Operating earnings	11.3	2.2
Operating earnings per diluted share	16.7	7.1

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2016	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	9.6 %	1.6 %
Net investment income	5.2	.8
Total benefits and expenses	8.9	.9
Operating earnings	9.0	3.5
Operating earnings per diluted share	14.1	8.5

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

2016 OPERATING EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS

<u>Full-Year Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2015</u>	<u>Yen Impact</u>
100	\$ 7.24 - 7.44	17.5 - 20.8%	\$.84
105	6.94 - 7.14	12.7 - 15.9	.54
110	6.75 - 6.95	9.6 - 12.8	.35
120.99 ²	6.40 - 6.60	3.9 - 7.1	-

¹ A non-GAAP measure

² Actual 2015 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; limited availability of acceptable yen-denominated investments; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; decline in creditworthiness of other financial institutions; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; decreases in our financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; ability to effectively manage key executive succession; level and outcome of litigation; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; ongoing changes in our industry; loss of consumer trust resulting from events external to our operations; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@afllac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@afllac.com

###